

平 工 善 市 (岐阜) 簡 田 藤三郎 (本部)

三 輪 壽 壯 (本部) の九氏

松村農村課長以下課員七名 外に大阪支所から上京中の下河部  
参事出席

當日の懇談内容は目下「速記」を整理中で追て詳細發表の豫定であるから茲には主なる事項別に極く概要を記するに止める。

#### 醫療組合

先づ岡崎氏から高知縣高岡町の醫療組合 (八家診療所) 開設の勤  
機、現状、將來等について述べ現在のところ相當の資績を擧げてお  
るが融通資金に非常に困難を感じてゐる。若しこゝに二三千円の融  
資があれば立派にやつて行け今後の問題としては醫師及び組合員の  
結合精神の強調が最も所要のこと、結ばれ、國民健康保険について

は大いに關心を持つてゐるか今遽に結論を言ふことは差し控へ度いと。

次で三宅氏は新潟縣の長岡を中心に一市廿八箇町村に亘る醫療組合  
について詳述し醫療費の低下は實質的に農民の支出を少なからしむ  
るので斯うしたところこそ充分の補助々成が施さるべきである。

また國民健康保険については當然醫療組合に大いなる役割を持たせ  
その活躍を期待せねばならぬと言はれる。

右のうち前者は任意組合、後者は産業組合による醫療組合でその間  
多少の差はあるが一般に (開業醫によるも) 醫療費の低下したことは  
否み難い事實であつて効果は大きく猶 適當な醫師を得ることと  
嫁を賣小以上に困難なこと、少或は醫師には經營上の經濟的責任を  
持たせぬが常に經營の内容を明にするやうにしてゐるとか或はまた